

森下さち子

2017年11月
和歌山市議員団
TEL(435)1113
FAX(421)4181

浸水被害による 見舞金の支給

床上浸水被害を受けられた方には3万円の現金支給があります。市総合防災課に罹災証明書を発行してもらったかたは、身分証明書(本人確認できる物)と印鑑を持参し市の高齢者・地域福祉課へ申請してください。罹災証明書は市の調査員による現地調査を受けると発行されます。まだのかたは435・199(総合防災課)まで電話してください。なお、災害見舞金の他、国保料や税金などの減免制度も受けられます。

市役所へ出向けない方は近くの支所・連絡所へ相談すれば、委任状で代理人による申請もできます。



一気に秋が進み、季節外れとも言うべき台風が連続して襲来。県管理の和田川の改修が進む中ではありますが、市の管理する前代川や永山川、平尾川が降り続いた雨により増水し、山東地区、宍原地区、岡崎地区に床上、床下浸水の被害が出ました。

被害を受けられたみなさんにお見舞い申し上げます。

浸水被害は名草地区や紀伊地区などにもでており、今後の対策が急がれます。



総選挙へのご支援

ありがとうございます

第48回総選挙は10月22日投票され、日本共産党は比例代表で11議席、小選挙区では沖縄1区で1議席、併せて12議席を獲得しました。前回の20議席からは後退となりました。

日本共産党は全国289の小選挙区のうち、野党候補の1本化のために83選挙区で候補者を擁立せず共闘勢力の前進に貢献しました。



紀の川市議選への

ご支援を

紀の川市議会議員選挙が11月12日告示されます。

日本共産党から石井ただし(42歳)、中村まき(38歳)、かど真一郎(68歳)の3人が立候補します。投票日は19日。

紀の川市にご親戚やお知り合いのある方、ぜひともご支援をお願いします。

《子育てシンポジウム》

主催：日本共産党北部地区委員会

11月23日(祝)14:00~

勤労者総合センター6Fホール

参加費無料

和歌山市の保育所のこと、学童保育所のこと、子育てのあれこれを考えてみませんか。

パネラー：中村あさと市議

(保育所アンケートと9月議会質問報告)

(予定)：保護者

：保育士

：馬場潔子さん(地域活動-子ども食堂)

助言者：田村智子参議院議員

「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」の見解より

※抜粋

与党大勝という結果は残念ではありますが、安倍政治に対抗すべき市民と野党の共闘のあるべき姿がこの選挙戦を通じて明確になったことには意味があると思われま。

違憲の安保法制を前提とした憲法9条改悪への反対と立憲主義の回復などを共通の土台とした今回の市民と野党の共闘の成果を踏まえ立憲野党が無所属、その他の心ある政治家とともに強力な対抗勢力を再構築することを心より期待し、市民連合もできる限りの応援をしたいと考えます。

秋 さっちゃんまつり

とき **11月12日(日) 11:00~**

ところ **鳴神社 東広場にて** (中谷病院 北100m)

* 駐車場はありません。駐輪場があります。

秋の一日、日ごろお世話になっている、地元地域のみなさんと楽しい一日を過ごしたいと思います。子どもたちのコーナーもあります。ぜひ、遊びに来てください。

お待ちしております！

11:00 オープニング



主催者あいさつ
うたごえオールスターズ (うたごえ)

11:30 模擬店

野菜、果物、おでん、おにぎり
お茶、ジュース



13:00 餅つきとお餅販売

おろしポン酢、きな粉、ぜんざい



子どもコーナー

竹馬、けん玉、竹とんぼ、コマ回し、紙芝居など



15:00 終了

◆雨天中止、小雨決行

主催：「さっちゃんまつり」実行委員会 (日本共産党東部後援会)

連絡先：432-6222 (日本共産党北部地区委員会)



10月からNHKの朝ドラが新しくなりましたが、私は9月末までの「ひよっこ」にはまり込んでいたので、ただいま「ひよ

っこ」口ス中。

この朝ドラは以前にも書きましたが、昭和の東京オリンピックからの高度成長時代が生き生きと描かれています。朝ドラは実在の人物を描くことが多いのですが、「ひよっこ」の登場人物はフィクションだそうです。

主人公の父親が一時、行方不明になり、記憶喪失となる展開もありましたが、誰も死なず、悪役もなかったことが印象に残っています。中でも茨城県を舞台にした農村の風景、家族で支える農業がとても懐かしく、毎日の放映が待ち遠しくてたまりませんでした。みなさんはお気に入りのドラマはありますか。



ブログ「さっちゃんほね・・・♪」より

9月に入り、昼間と朝夕の気温差が大きくなってきました。そして、先日の土曜日から自宅近くの田んぼで稲刈りが始まっています。

稲の少し青臭いというのか、独特の匂いがあたりに漂い、乾燥機の音もしています。幼少の頃、あちこちでかいだ匂い・・・懐かしさがこみ上げます。

まだ青い稲わらが、刈り取った後の田んぼにいっせいに立てられている景色を見ているうちに、小学生の頃の、積み上がった稲わらの山とダブって見えてきました。

幼なじみたちと駆け回って遊んだあの頃、家の回りは、どこもかしこも田んぼでした。稲わらを積み上げた田んぼで追いかけてっこをしているうちに、だんだんエスカレートして、積んだ稲わらの上にまで乗って、その山を崩してしまい、こっぴどく叱られたこともあったっけ。



<http://sachikogo.exblog.jp/>